



バン格拉デシユに恋して

私たちにあまり馴染みのない南アジアの国、
バン格拉デシユを紹介いたします。

vol.19



お礼の手紙が届きました。

今年の3月に発足した「ローズマリー基金」小さな小さな支援活動なのですが、お礼の手紙がバングラデシユから届きました。今回はそのお手紙の一通を紹介したいと思います。

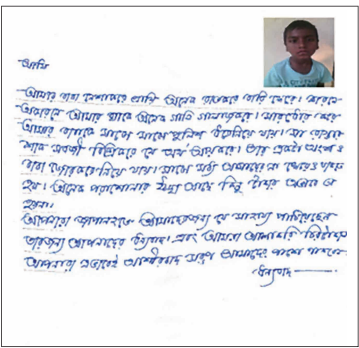
僕はオミトです。僕のお父さんは麻薬を使用し、いつも夜遅い時間に家に帰ってきます。そして、いつもお母さんを理由なしに怒ったり、暴力をふるいます。時々警察に捕まり何日間か刑務所に入ってしまう事もあります。

お母さんは道端で生野菜を売ったり、魚を売ったりしてお金を稼いでいます。でも仕事をして稼いだきたお金もお父さんは無理やり持って行きます。僕は毎日ごはんを食べることができないくらい貧しいです。

あなた達が私達の学校に送ってくれたお金で、先

生は僕の為に勉強するものだけではなく食べ物も買ってくれました。とても嬉しかったです。本当にありがとうございました。

バン格拉デシユロータリー倶楽部の方を通じてこのお手紙を頂きましたが、私達の想像以上に私達の善意はバン格拉デシユで役立つているのだな、と感じることが出来たと嬉しかったです。いつもご協力頂いている皆様にお礼を申し上げます。



▶オミトくんからの手紙

鶴田 素子さん

八代市のローズマリー紅茶店オーナー。50歳で大学院に再入学し、開発経済学を専攻。途上国の貧困削減のためフェアトレードを推進する。

ホームページでも見れます!

ローズマリー 八代 検索

ご感想お待ちしております!